

GOLF MANNERS

プレー前

当クラブへお越しの際は、時間にゆとりを持ってお出かけください。
最低でもスタート30分前には到着をして受付をすませてください。
到着が遅れる場合、必ずお電話ください。
キャディーバッグ・ボストンバッグなどには名札をつけてください。
コンペなどでは遅れると皆に迷惑をかけます。集合時間は厳守しましょう。

ハウス内で

ハウス内では、余り大きな声を発しないように心がけましょう
携帯電話はマナーモードに設定するとともに、ご使用は他の方の迷惑が掛からない場所
でお願いいたします。
クラブハウス内では雨具・帽子は取りましょう
喫煙は決められた場所をお願いいたします。10時から14時まではレストラン内禁煙
です。ご協力お願いいたします。

スタート時間について

スタート時間とは、プレーヤがスターティングホールのティインググラウンドに集まる
時間のことではなく、オーナーがアドレスに入る時刻の事です。スタート時間10分前
にはカートをスターティングホールに向かって移動させましょう。

コース上での心得

ティインググラウンドの使い方

ティインググラウンド上にはショットするプレーヤのみが上がりましょう。
プレーヤの邪魔をしないのはもちろんのこと、無意味な踏圧による土壌硬化で芝の成長
を妨げることにもなります。また素振りで芝を傷める原因にもなります。
アドレス前の軽い素振りは構いませんが、力いっぱい素振りは厳禁です。
ティインググラウンドはコースの中でもとくに大事にしなければならない舞台です。
そこを傷める危険のある事は慎みましょう！
隣のホールや前の組に球を打ち込んでしまいそうなら、躊躇せずに「フォアfore」の
大声を発して危険を知らせましょう。
打順は、クジやティートスなどで決めますが、レディーファーストやシニアファースト

など臨機応変に工夫すると時間のムダがなくなりプレー時間の短縮につながります。

ディボットマーク・ボールマークの修復

ボビー・ジョーンズから「世界で最も偉大なゴルフ・マーシャル」なる賛辞を贈られた‘ピーター・ヘイ’（1885～没年不祥）は次のように言っています。

『君がきた時よりもいい状態にしてコースから立ち去れ。』

ショットの痕跡を残さないのが、ゴルフコースの使い方である。痕跡をつくったら、できるかぎり丁寧に修復しなければならない。他人が修復し忘れたものも、みつけたら直すことがだいじである。ディボットや折れた枝が落ちていたら、拾ってあと始末しよう。ゴルファーのコースへの感謝と愛情、あとからくるほかのゴルファーへの友情である。

ディボットマークには目土をしてショットの後始末をしましょう。

根のついたままはぎとられたディボットはまだ生きているので、すみやかに拾ってはめ戻し隙間をなくすようにそっと踏んで押さえ、周囲の隙間に目土をかぶせましょう。芝がバラバラにちぎれてしまった場合でも、できるだけ拾い集めてディボットマークに捨て、目土をかけましょう。目土の砂は後続のプレーヤーのためにも、周囲の芝面と砂の面を合わせてフラットにしましょう。

グリーンへの上がり方

グリーンはコースの中でもっともデリケートな表面を保たなければならないエリアです。グリーン奥のボールに向かう時はグリーンを横切らず、グリーンの外を回り込む心配りが必要です。

打ち上げホールでグリーン面が見えないホールは、以外にショートしていたり、止まらずにグリーン奥のラフやバンカーまでいっていることがあります注意が必要です。パター以外のクラブも準備しておきましょう。

グリーン上での振る舞い

グリーン上ではスパイクを引きずって歩いたり、飛んだり走ったりせずゆっくり歩行を心がけて下さい。

ゴルフ規則第一章で「傷つけたパッティンググリーンの損傷も必ず入念に修復しておくべきである」と義務付けられています。

引掻き傷はプレー前に修復できませんので注意が必要です。プレー後に入念に修復しましょう。

ボールマークは正しい手順で直しましょう。グリーンに来たら自分のものであろうとなかろうといくつかは直すように習慣づけておきましょう。間違った直し方をすると芝が枯れて再生に時間がかかってしまうので注意しましょう。

グリーンフォークの使い方

ボールマークの修復は芝の根を切らないように凹みを平らに戻さなければなりません。修復の方法は『かき寄せ式』が原則です。

グリーンフォークをボールマークの外側に、やや斜めに差し込み、凹みの中心へかき寄せます。周囲3、4方向ぐらいからかき寄せ、芝がグリーン面よりほんの少し盛り上がり気味になったら、パターのソールで平らに押さえます。

パター以外のクラブは次のティインググラウンド方向かカートに向かう途中のグリーン外（カラー）に置きましょう。

ラインのチェックや歩測は自分の番の時ではなく、予め終えておきましょう。他の人が見ているときに一緒にしてしまうのがよいでしょう。

旗竿はピンに一番近い人が早くボールをマークして拾い上げ抜きましょう。旗竿はグリーンの外に音を立てないようにそっと置きましょう。

カップインしたボールを拾い上げる時は、カップと自分のつま先の間になくとも靴ひとつ分以上は空けるように心がけましょう。カップ周辺はグリーン上で最もデリケートな場所です。

ホールアウト後は速やかにグリーンから立ち去り後ろの組に場を譲りましょう。クラブを持ったままとりあえずカートに乗り次のホールのティインググラウンドでクラブをしまいましょう。グリーン上でスコアのチェックをするのは厳禁です。スコアの記入も移動中か次のホールのティインググラウンドで行うようにしましょう。

プレーファスト PLAY FAST

「ラウンド能力」をみがき、2時間以内で回れるよう全員で努めましょう。

「ラウンド能力」の基本は3つ。① 速歩き ② 気配り・目配り ③ 手順・段取り

セルフプレーで無駄な動きの筆頭が、ショット後ティ方向へもどること。カートをボールよりも後ろに止めてショットをすることがないよう、次打を考え止める位置を決定しましょう。

状況判断を早めにしましょう。林の中に行くなら林から脱出した後に使いそうなクラブを持っていけば、一回一回カートに戻らずに済むのでスムーズにいきます。

カートから離れる時はクラブを2、3本、アプローチショットの際は一緒にパターも持って行きましょう。

進行には、同一組のチームプレーが大切になります。バンカーでミスした人がいたら、ゆとりのある人間がならず、グリーンに上がる時は皆のパターを持つなど工夫をしましょう。

遠球先打に固執せず、林の中でボールを打つ準備に手間取っているプレーヤより、前のフェアウェイから先にショットするなど工夫しましょう。

禁煙のお願い

コース内で唯一喫煙できる場所は、ティインググラウンド周辺のみです。

走行中のカート内は禁煙です。

ティインググラウンドの芝の上に吸いかけのタバコを置くのはやめましょう。

乗用カートの操作について

当クラブの乗用カートは、電磁誘導カートとなっております。

カート同士は、衝突防止センサーがはたらき衝突する事はありませんが、人間には反応しませんので、カートの前には絶対にでないうようお願いいたします。

乗車中には、思いがけない急停車、急発進があり振り落とされる危険性がありますので、手すりをしっかり握って乗車してください。

発進・停車などの操作はリモコンで遠隔操作できます。

リモコンを操作される方は組内の上級者の方をお願いいたします。

常にカートのまわりの安全を確認して操作してください。

次のホールへ先送りする場合、前の組のプレーにご注意頂き、妨げにならないよう操作をお願い致します。

ドレスコード

襟なしウェアの着用

だらしない服装（シャツの裾を出す際には長すぎないものを選ぶなどのセンスが必要）

タオルを首に巻く

など、他のお客様に不快感を与える服装、着こなしでのプレーはご遠慮ください。

また、到着、帰宅時のGパン、Tシャツ、サンダルなどの着用もご遠慮ください。

お互いが気持ちよくゴルフライフを楽しめるようご配慮をお願いいたします。

ご同伴ビジターの皆様にもご指導のほど、重ねてお願い申し上げます。

清潔でセンスの良い服装を心がけ、クラブライフを楽しみましょう。

当クラブではメタルスパイク(鋌)は禁止させていただき、ソフトスパイク、スパイクレスシューズでのプレーをお願いしております。ご同伴のお仲間ご友人にも事前にお知らせください。